PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY

(Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

| Applicant's or agent's file reference ONF-5055PCT | FOR FURTHER ACTION | See item 4 below | |
|--|--|--|--|
| International application No. PCT/JP2004/008387 | International filing date (day/month/year) 09 June 2004 (09.06.2004) | Priority date (day/month/year) 10 June 2003 (10.06.2003)] | |
| International Patent Classification (IPC 7 C07C 51/06, 53/128, 231/06, 233 | | | |
| Applicant ONO PHARMACEUTICAL CO., LT | TD. | | |

| 1. | This international preliminary re International Searching Authorit | | I) is issued by the International Bureau on behalf of the |
|----|--|---|---|
| 2. | This REPORT consists of a total | of 5 sheets, including this cov | ver sheet. |
| | In the attached sheets, any refere to the international preliminary r | | he International Searching Authority should be read as a reference r I) instead. |
| 3. | This report contains indications | relating to the following items | : |
| | Box No. I | Basis of the report | |
| | Box No. II | Priority | |
| | Box No. III | Non-establishment of opin applicability | ion with regard to novelty, inventive step and industrial |
| | Box No. IV | Lack of unity of invention | |
| | Box No. V | | Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial explanations supporting such statement |
| | Box No. VI | Certain documents cited | |
| | Box No. VII | Certain defects in the intern | national application |
| | Box No. VIII | Certain observations on the | e international application |
| 4. | | | gnated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but or Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority |
| | | | |
| | | | Date of issuance of this report 13 December 2005 (13.12.2005) |
| | Ti Intermedia and Dame | WIDO | Authorized officer |

Masashi Honda

Telephone No. +41 22 338 70 10

Facsimile No. +41 22 740 14 35 Form PCT/IB/373 (January 2004)

The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland

特許協力条約

発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

| 出願人代理人 | RECEIVED | | |
|--|-----------------------------------|--|--|
| 大家 邦久 | 2 6 AUG 2004 | | |
| - 様! あて名 | PCT WIPO PCT | | |
| 〒 103-0013 | 国際調査機関の見解書 | | |
| 東京都中央区日本橋人形町2丁目14番6号 | (法施行規則第40条の2) 【PCT規則43の2.1] | | |
| セルバ人形町6階 大家特許事務所 | 発送日 0.000 4 | | |
| | (日.月.年) 24. 8. 2004 | | |
| 出願人又は代理人 の書類記号 ONF-5055PCT | 今後の手続きについては、下記2を参照すること。 | | |
| 国際出願番号 国際出願日 (日.月.年) 09. | 優先日 06.2004 (月.月.年) 10.06.2003 | | |
| 国際特許分類(IPC) | | | |
| Int. Cl. 7 C07C51/06, 53/128, 231/06, 233/05, 309/73 // C07M | <i>u</i> • ∪∪ | | |
| 出願人(氏名又は名称) 小野薬品工業株式会社 | | | |
| ※ 第 I 欄 見解の基礎 第 I 欄 優先権 第 II 欄 優先権 第 II 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成 第 IV 欄 発明の単一性の欠如 ※ 第 V 欄 P C T 規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 第 VI 欄 国際出願の不備 第 VI 欄 国際出願の不備 第 VI 欄 国際出願に対する意見 2. 今後の手続き 国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国際予備審査機関が P C T 規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。 この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式 P C T / I S A / 2 2 0 を送付した日か | | | |
| 63月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。 さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。 | | | |
| 3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。 | | | |
| 見解書を作成した日 09.08.2004 | | | |
| 名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号 | 特許庁審査官 (権限のある職員) ・ 一 一 一 | | |

| 第1欄 見解の基礎 | | | | |
|---|--|--|--|--|
| 1. この見解書は、下筒 | Bに示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。 | | | |
| □ この見解書は、□ 語による翻訳文を基礎として作成した。 それは国際調査のために提出された P C T 規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。 | | | | |
| 2. この国際出願で開え 以下に基づき見解す | 示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 なを作成した。 | | | |
| a. タイプ | 配列表 | | | |
| | 配列表に関連するテーブル | | | |
| b. フォーマット | 曹面 | | | |
| | コンピュータ読み取り可能な形式 . | | | |
| c. 提出時期 | 出願時の国際出願に含まれる | | | |
| | この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された | | | |
| • | 出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された | | | |
| 3. □ さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。 | | | | |
| 4. 補足意見: | • | | | |
| · | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| ٠. | • | | | |
| , | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| 7 欄 新規性、進歩性又は産業上 それを裏付る文献及び説明 | の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定 | · · |
|----------------------------------|------------------------------------|-----|
| 見解 | | • |
| 新規性(N) | 請求の範囲 1-7 請求の範囲 | |
| · 進歩性(IS) | 請求の範囲 1,3 請求の範囲 2,4-7 | |
| ・ 産業上の利用可能性(IA) | 請求の範囲 <u>1-7</u> 請求の範囲 | |

文献1: JP 7-316092 A (小野薬品工業株式会社) 1995.12.05

& EP 632008 A1

文献2: WO 99/58513 A1 (小野薬品工業株式会社) 1999.11.18

& EP 1078921 A1

文献3: JP 1-275541 A (日本鉱業株式会社) 1989.11.06

文献1 (特許請求の範囲, [0018], 第41頁実施例7(33), 第42頁実施例8(3)) には、 2ープロピルオクタンアミドが、2ープロピルオクタン酸又はその塩と同様に、ア ストロサイトの機能異常による神経変性疾患の治療または予防剤として有用である ことが記載されている。

文献2 (第1頁, 特許請求の範囲) には、光学活性な2R-プロピルオクタン酸 が、アストロサイトの機能異常による神経変性疾患の治療または予防剤として、特 ・に活性が強いことが記載されている。

文献2の記載を基に、文献1に記載された2-プロピルオクタンアミドを2R-プ ロピルオクタンアミドとすることは、当業者が容易になし得ることである。 よって、請求の範囲4,5は、進歩性を有しない。

文献1,2から、当業者が容易に想到し得る2Rープロピルオクタンアミドを、文 献2に記載された2Rープロピルオクタン酸の原料とすることは、当業者が容易に なし得ることである。

よって、請求の範囲2は、進歩性を有しない。

文献3 (特許請求の範囲,実施例1,2) には、光学活性な4-デカノールの製造方 法が記載されているから、得られた4-デカノールの光学活性体を、適宜水酸基の 保護基によって保護することは、当業者が容易になし得ることである。

よって、請求の範囲6,7は、進歩性を有しない。

補充欄

いずれかの柳の大きさが足りない場合

第 V 桐の続き

請求の範囲1,3に記載された(2R) - 2 - プロピルオクタン酸又は(2R) - 2 - プロピルオクタンアミドの製造方法は、国際調査報告で引用された文献又は当該発明に関連があると認められるいずれの文献にも記載されておらず、かつ、当業者にとって自明なものでもない。

よって、請求の範囲1,3は、新規性及び進歩性を有する。